

支部便り

第3回（平成27年度）関東支部若手研究者育成研修会 A report on the third workshop for nurturing young researchers, FY2015, by Kanto branch, Japan Institute of Light Metals

山本 篤史郎*
Tokujiro YAMAMOTO*

8月30日(日)～31日(月)の2日間、株式会社神戸製鋼所鬼怒川保養所において、平成27年度（第3回）関東支部若手研究者育成研修会を開催した。本研修会は、これからの軽金属学会を担う35歳未満の若手研究者の育成ならびに交流を目的としている。第1回は関東支部の60周年記念特別行事として平成23年度に開催された。若手研究者らが所属組織の垣根を越えて合宿形式で交流する機会は貴重であり、相互により刺激を与えている。平成25年度に開催された第2回に引き続き、この度第3回を開催する運びとなった。

本研修会には様々な観点から軽金属に携わる若手研究者が集っているため、春秋の講演大会と比較すると研究背景や実験方法などについて要点を簡潔に押さえた丁寧な説明が求められる。参加者にとって、普段取り組んでいる研究開発について広い視野から見つめ直し、理解を一層深める契機になると期待される。

今回の研修会に参加した若手研究者は、企業研究者6名（神戸製鋼所3名、昭和電工1名、UACJ2名）、大学院生22名（茨城大7名、宇都宮大2名、工学院大2名、東京工業大2名、千葉工業大1名、千葉大2名、日本大4名、横浜国立大2名）、学部学生2名（早稲田大2名）の30名であった（図1）。このほかに関東支部運営委員13名が参加した。

1日目の午前8時30分に東京駅に集合しバスで保養所に到着後、昼食を済ませてから講演会が始まった。2会場それぞれ15件ずつ合計30件の講演があり、講演会が進むにつれいずれの会場でも質疑応答が活発化した（図2）。講演会後には、参加者の評価による最優秀・優秀研究講演者賞のほか、最優秀・優秀聴講者賞、自動車賞、関東支部長賞等が授与された。受賞者ならびに参加者には副賞として、支部運営委員から頂いた記念品が配られた。

2日目は朝から特別講演として、いすゞ自動車株式会社の茂泉健支部運営委員より軽金属部材の開発にとどまらない様々な取り組みについてご紹介いただいた（図3）。その旺盛なチャレンジ精神に就職希望者も進学希望者も心を打たれたことであろう。

講演会後、バスにて神戸製鋼所真岡製造所へ向かった。ビデオによる製造所の紹介の後に工場見学を実施した。熱間圧延、冷間圧延、熱処理などの各製造工程では、本研修会に参加した神戸製鋼所の若手研究者を含む先輩方に本製造所の特徴を説明いただくなど、普段の工場見学とは異なる本学会ならではの体験をさせていただいた。

本研修会では、テーマごとにセッションが分かれる春秋の

講演大会と異なり、参加者から基本的な質問も多数なされた。普段は限定されたグループ内で周知の知識となっているため、理解が曖昧なままで済ませていた部分についても、改めて復習の重要性を認識する機会になったと考えられる。講演大会と比較して率直な意見が出やすい本研修会が、引き続き若手研究者の鍛錬の場となり、軽金属分野のより一層の発展に繋がると期待される。

最後に、本研修会にご協力いただいた参加者・関係者ならびに若手研究者に参加を勧めていただいたご先達の皆様に御礼申し上げる。



図1 参加者集合写真



図2 白熱した質疑応答の様様



図3 特別講演で登壇された茂泉 健支部運営委員（いすゞ自動車株式会社）